

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公開番号】特開2016-167806(P2016-167806A)

【公開日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2016-40141(P2016-40141)

【国際特許分類】

H 04 M 3/56 (2006.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

H 04 N 7/15 (2006.01)

【F I】

H 04 M 3/56 A

G 06 F 13/00 6 5 0 B

H 04 N 7/15 6 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サーバが第1のユーザの端末から、第2のユーザ及び第3のユーザが参加者の会議ルームを生成するための会議ルーム生成要求を受信する工程と、

前記会議ルーム生成要求を受信した場合に、前記サーバが、前記第1乃至第3のユーザを参加者にする前記会議ルームを生成する工程と、

前記サーバが、前記第1乃至第3のユーザの端末のうち、少なくとも1人の参加者の端末から、所定の音量以上の音声データを受信する工程と、

前記サーバが、前記受信された音声データに基づいて会議データを生成する工程と、

前記サーバが、前記会議データを前記参加者の端末に送信する工程と、を含む会議サービス提供方法。

【請求項2】

前記会議ルームを生成する工程は、

前記会議ルーム生成要求を受けて、前記会議ルームに係わる会議状態画面を生成し、前記会議状態画面を前記第1のユーザの端末に提供する工程と、

前記第1のユーザの端末から、第2のユーザ及び第3のユーザを参加者にする会議ルームを生成する最終生成要求を受信する工程と、

前記最終生成要求を受けて、前記第1のユーザないし前記第3のユーザを参加者にする会議ルームを生成する工程と、を含み、

前記会議状態画面は、

会議ルームの状態を表示する画面であり、会議ルームに含まれた参加者情報、または会議ルームに入室した参加者情報を含むことを特徴とする請求項1に記載の会議サービス提供方法。

【請求項3】

前記会議データは、

前記会議に係わる会議進行画面を構成する参加者情報、参加者のプロフィール写真、前

記参加者の状態情報、前記参加者の入室時間、前記参加者の退室時間、前記会議の総参加者数、前記会議の経過時間及び前記会議の状態情報のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする請求項1に記載の会議サービス提供方法。

#### 【請求項4】

前記会議ルームを生成する工程は、  
前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末に、前記会議ルームに連結されたリンクを含む招待メッセージを送信する工程と、  
前記リンクを選択するイベントを受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに入室させる工程と、を含み、  
前記会議ルームに入室したユーザの状態は、会議ルーム入室に設定されることを特徴とする請求項1に記載の会議サービス提供方法。

#### 【請求項5】

前記会議ルームを生成する工程は、  
前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末に、前記会議ルームに連結されたリンクを含む招待メッセージを送信する工程と、  
前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末のうち少なくとも一つからの前記リンクを選択するユーザ入力を受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに係わる会議状態画面に移動させる工程と、  
前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人から、前記会議状態画面に含まれた会議ルーム入室ボタンに対する入力を受信する工程と、  
前記入室ボタンに対する入力を受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに入室させる工程と、を含み、  
前記会議状態画面は、  
会議ルームの状態を表示する画面であり、会議ルームに含まれた参加者情報、または会議ルームに入室した参加者情報を含み、  
前記会議ルームに入室したユーザの状態は、会議ルーム入室に設定されることを特徴とする請求項1に記載の会議サービス提供方法。

#### 【請求項6】

前記会議データは、代表イメージを含み、  
前記代表イメージは、  
前記会議ルームに含まれた参加者数に分割され、前記会議ルームに含まれた複数の参加者のプロフィール写真を含むことを特徴とする請求項1に記載の会議サービス提供方法。

#### 【請求項7】

コンピュータを利用して、請求項1ないし6のうちいずれか1項に記載の方法を実行させるためにコンピュータ可読媒体に保存されたコンピュータプログラム。

#### 【請求項8】

第1のユーザの端末が、第1のユーザから、第2のユーザ及び第3のユーザを参加者にする第1会議ルームを生成するための第1会議ルーム生成要求が入力される工程と、  
前記第1会議ルーム生成要求の入力を受けて、前記第1のユーザの端末が、前記第1会議ルームを生成する工程と、  
前記第1会議ルームの状態が活性化状態である間、前記第1のユーザの端末から、所定の音量以上の大きさを有する第1音声ファイルが入力されるか、または前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末のうち少なくとも一つから受信した所定の音量以上の大きさを有する第2音声ファイル、及び参加者の情報を受信する工程と、

前記第2音声ファイルを出力し、前記参加者の情報を基に、前記参加者のうち全部または一部を参加者として設定して第1会議進行画面を表示する工程と、

前記第1音声ファイルを、前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末に送信する工程と、を含み、

前記第1会議ルームの状態は、ユーザの要求によって決定され、  
前記参加者は、

会議ルームの参加者でありながら、所定の音量以上の大きさを有する音が入力された端末の所有者である会議サービス提供方法。

【請求項 9】

前記第2音声ファイルは、

前記第2のユーザの端末から受信した所定の音量以上の大きさを有する第1音データ、及び第3のユーザの端末から受信した所定の音量以上の大きさを有する第2音データのうち少なくとも一つを含むことを特徴とする請求項8に記載の会議サービス提供方法。

【請求項 10】

第1のユーザから、前記第1会議ルームを非活性化させる非活性要求信号が入力される工程と、

前記非活性要求信号に対応し、前記第1会議ルームの状態を非活性状態に変更する工程と、をさらに含み、

前記第1会議ルームの状態が非活性状態である間、前記第1会議進行画面をアップデートせず、入力された音を他の参加者の端末に送信しないことを特徴とする請求項8に記載の会議サービス提供方法。

【請求項 11】

前記第1のユーザの端末が、第1のユーザから、第4のユーザ及び第5のユーザを参加者にする第2会議ルームを生成する第2会議ルーム生成要求が入力される工程と、

前記第2会議ルーム生成要求の入力を受けて、前記第1のユーザの端末が、前記第2会議ルームを生成する工程と、をさらに含むことを特徴とする請求項8に記載の会議サービス提供方法。

【請求項 12】

通信部が、第3会議ルーム生成者の端末から、第3会議ルームに対する招待メッセージを受信する工程と、

前記第3会議ルームに対する招待メッセージを受けて、前記第3会議ルームに接続する工程と、

前記第3会議ルームの参加者、及び入室した参加者情報を確認するために、前記第3会議ルームの会議状態画面を受信し、前記第3会議ルームの会議状態画面を表示する工程と、

前記第1のユーザの端末が、前記第3会議ルームに対する入室信号が入力される工程と、

前記第3会議ルームに対する入室信号を受けて、前記第3会議ルームに入室する工程と、を含むことを特徴とする請求項8に記載の会議サービス提供方法。

【請求項 13】

コンピュータを利用して、請求項8ないし12のうちいずれか1項に記載の方法を実行するためにコンピュータ可読媒体に保存されたコンピュータプログラム。

【請求項 14】

第1のユーザの端末から、第2のユーザ及び第3のユーザを参加者にする会議ルームを生成するための会議ルーム生成要求を受信する要求受信部と、

前記会議ルーム生成要求を受けて、会議ルーム制御部が、前記第1のユーザないし前記第3のユーザを参加者にする会議ルームを生成する会議ルーム制御部と、

前記第1のユーザないし前記第3のユーザの端末のうち、少なくとも1人の参加者の端末から、所定の音量以上の音声データを含む音声ファイル、及び前記参加者の情報を受信するファイル受信部と、

前記受信した音声ファイル及び前記参加者の情報を併合して会議データを生成する状態制御部と、

前記会議データを前記参加者の端末に提供する表示制御部と、を含み、

前記参加者は、

会議ルームの参加者であり、所定の音量以上の大きさを有する音が入力された端末の所有者である会議サービス提供サーバ。

**【請求項 1 5】**

前記会議ルーム制御部は、

前記会議ルーム生成要求を受けて、前記会議ルームに係わる会議状態画面を生成し、前記会議状態画面を前記第1のユーザの端末に提供し、前記第1のユーザの端末から、第2のユーザ及び第3のユーザを参加者にする会議ルームを生成する最終生成要求を受信し、前記最終生成要求を受けて、前記第1のユーザないし前記第3のユーザを参加者にする会議ルームを生成し、

前記会議状態画面は、

会議ルームの状態を表示する画面であり、会議ルームに含まれた参加者情報、または会議ルームに入室した参加者情報を含むことを特徴とする請求項14に記載の会議サービス提供サーバ。

**【請求項 1 6】**

前記会議データは、

前記会議に係わる会議進行画面を構成する参加者情報、参加者のプロフィール写真、前記参加者の状態情報、前記参加者の入室時間及び退室時間、前記会議の総参加者数、前記会議の経過時間、前記会議の状態情報のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする請求項14に記載の会議サービス提供サーバ。

**【請求項 1 7】**

前記会議ルーム制御部は、

前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末に、前記会議ルームに連結されたリンクを含む招待メッセージを送信し、前記リンクの選択を受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに入室させ、

前記会議ルームに入室したユーザの状態は、会議ルーム入室に設定されることを特徴とする請求項14に記載の会議サービス提供サーバ。

**【請求項 1 8】**

前記会議ルーム制御部は、

前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末に、前記会議ルームに連結されたリンクを含む招待メッセージを送信し、前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末のうち少なくとも一つからの前記リンクを選択するユーザ入力を受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに係わる会議状態画面に移動させ、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人から、前記会議状態画面に含まれた会議ルーム入室ボタンに対する入力を受信し、前記入室ボタンに対する入力を受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに入室させ、

前記会議状態画面は、

会議ルームの状態を表示する画面であり、会議ルームに含まれた参加者情報、または会議ルームに入室した参加者情報を含み、

前記会議ルームに入室したユーザの状態は、会議ルーム入室に設定されることを特徴とする請求項14に記載の会議サービス提供サーバ。

**【請求項 1 9】**

前記会議データは、代表イメージを含み、

前記代表イメージは、

前記会議ルームに含まれた参加者数に分割され、前記会議ルームに含まれた複数の参加者のプロフィール写真を含むことを特徴とする請求項14に記載の会議サービス提供サーバ。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の実施形態による会議サービス提供方法は、サーバが第1のユーザの端末から、第2のユーザ及び第3のユーザが参加者の会議ルームを生成するための会議ルーム生成要求を受信する工程と、前記会議ルーム生成要求を受信した場合に、前記サーバが、前記第1乃至第3のユーザを参加者にする前記会議ルームを生成する工程と、前記サーバが、前記第1乃至第3のユーザの端末のうち、少なくとも1人の参加者の端末から、所定の音量以上の音声データを受信する工程と、前記サーバが、前記受信された音声データに基づいて会議データを生成する工程と、前記サーバが、前記会議データを前記参加者の端末に送信する工程と、を含む。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記会議ルームを生成する工程は、前記会議ルーム生成要求を受けて、前記会議ルームに係わる会議状態画面を生成し、前記会議状態画面を前記第1のユーザ端末に提供する工程と、前記第1のユーザの端末から、第2のユーザ及び第3のユーザを参加者にする会議ルームを生成する最終生成要求を受信する工程と、前記最終生成要求を受けて、前記第1のユーザないし前記第3のユーザを参加者にする会議ルームを生成する工程と、を含み、前記会議状態画面は、会議ルームの状態を表示する画面であり、会議ルームに含まれた参加者情報、または会議ルームに入室した参加者情報を含んでもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記会議データは、前記会議に係わる会議進行画面を構成する参加者情報、参加者のプロフィール写真、前記参加者の状態情報、前記参加者の入室時間、前記参加者の退室時間、前記会議の総参加者数、前記会議の経過時間及び前記会議の状態情報のうち少なくとも一つを含んでもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記会議ルームを生成する工程は、前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末に、前記会議ルームに連結されたリンクを含む招待メッセージを送信する工程と、前記リンクを選択するイベントを受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに入室させる工程と、を含み、前記会議ルームに入室したユーザの状態は、会議ルーム入室に設定される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

前記会議ルームを生成する工程は、前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末に、前記会議ルームに連結されたリンクを含む招待メッセージを送信する工程と、前記第2のユー

ザ及び第3のユーザの端末のうち少なくとも一つからの前記リンクを選択するユーザ入力を受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに係わる会議状態画面に移動させる工程と、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人から、前記会議状態画面に含まれた会議ルーム入室ボタンに対する入力を受信する工程と、前記入室ボタンに対する入力を受けて、前記第2のユーザ及び第3のユーザのうち少なくとも一人を、前記会議ルームに入室させる工程と、を含み、前記会議状態画面は、会議ルームの状態を表示する画面であり、会議ルームに含まれた参加者情報、または会議ルームに入室した参加者情報を含み、前記会議ルームに入室したユーザの状態は、会議ルーム入室に設定される。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

前記会議データは、代表イメージを含み、前記代表イメージは、前記会議ルームに含まれた参加者数に分割され、前記会議ルームに含まれた複数の参加者のプロフィール写真を含んでもよい。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の実施形態による会議サービス提供方法は、第1のユーザの端末が、第1のユーザから、第2のユーザ及び第3のユーザを参加者にする第1会議ルームを生成するための第1会議ルーム生成要求が入力される工程と、前記第1会議ルーム生成要求の入力を受けて、前記第1のユーザの端末が、前記第1会議ルームを生成する工程と、前記第1会議ルームの状態が活性化状態である間、前記第1のユーザの端末から、所定の音量以上の大きさを有する第1音声ファイルが入力されるか、または前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末のうち少なくとも一つから受信した所定の音量以上の大きさを有する第2音声ファイル、及び参加者の情報を受信する工程と、前記第2音声ファイルを出力し、前記参加者の情報を基に、前記参加者のうち全部または一部を参加者として設定して第1会議進行画面を表示する工程と、前記第1音声ファイルを、前記第2のユーザ及び第3のユーザの端末に送信する工程と、を含み、前記第1会議ルームの状態は、ユーザの要求によって決定され、前記参加者は、会議ルームの参加者でありながら、所定の音量以上の大きさを有する音が入力された端末の所有者でもある。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

前記第2音声ファイルは、前記第2のユーザの端末から受信した所定の音量以上の大きさを有する第1音データ、及び第3のユーザの端末から受信した所定の音量以上の大きさを有する第2音データのうち少なくとも一つを含んでもよい。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0017】

本発明の実施形態による会議サービス提供方法は、第1のユーザから、前記第1会議ルームを非活性化させる非活性要求信号が入力される工程と、前記非活性要求信号に対応し、前記第1会議ルームの状態を非活性状態に変更する工程と、をさらに含み、前記第1会議ルームの状態が非活性状態である間、前記第1会議進行画面をアップデートせず、入力された音を他の参加者の端末に送信しない。

## 【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0018】

本発明の実施形態による会議サービス提供方法は、前記第1のユーザの端末が、第1のユーザから、第4のユーザ及び第5のユーザを参加者にする第2会議ルームを生成する第2会議ルーム生成要求が入力される工程と、前記第2会議ルーム生成要求の入力を受けて、前記第1のユーザの端末が前記第2会議ルームを生成する工程と、をさらに含んでもよい。

## 【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0019】

本発明の実施形態による会議サービス提供方法は、通信部が、第3会議ルーム生成者の端末から、第3会議ルームに対する招待メッセージを受信する工程と、前記第3会議ルームに対する招待メッセージを受けて、前記第3会議ルームに接続する工程と、前記第3会議ルームの参加者、及び入室した参加者情報を確認するために、前記第3会議ルームの会議状態画面を受信し、前記第3会議ルームの会議状態画面を表示する工程と、前記第1ユーザの端末が、前記第3会議ルームに対する入室信号が入力される工程と、前記第3会議ルームに対する入室信号を受けて、前記第3会議ルームに入室する工程と、を含んでもよい。